

MPシアプレートの採用広がる

BXカネシン

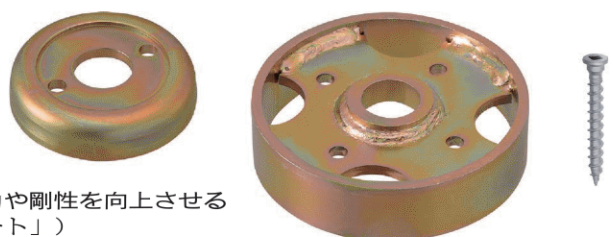
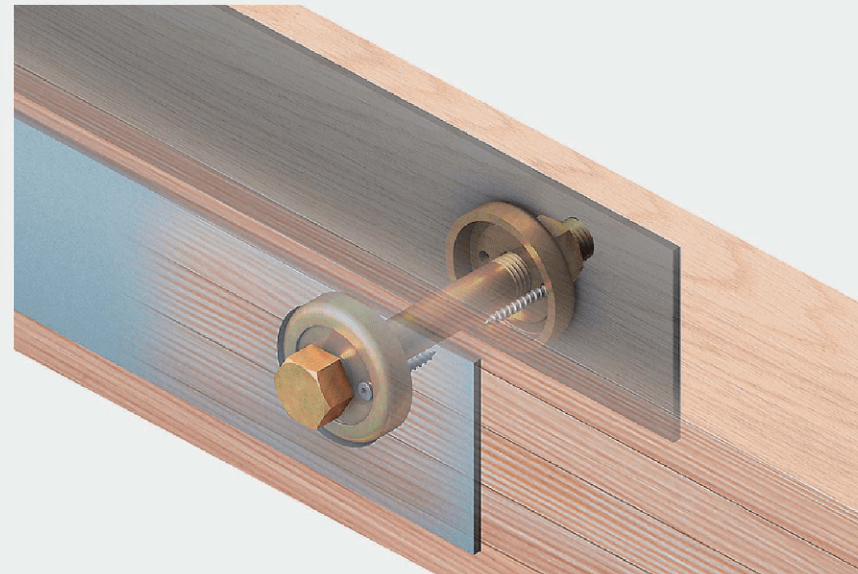
ジベル接合に着目、流通材の活用にも

「MPシアプレート」の採用が広がっている。同商品は昨年9月に発売したが、今年に入ってから既に、柔道場やワイナリー、倉庫、学校施設など10件余りで用いられた。使用数が多い物件では、500個以上が使われたという。

MPシアプレートは、ジベル接合に用いることができる金物。ジベル接合は、「木質構造設計基準・同解説」（日本建築学会）に掲載され、同接合を認知している設計者がいる一方、日本国内では流通が少なく、汎用的な部材ではなかったという。

また、鋼材が不足している戦前・戦中の日本国内では、「新興木構造」として、木材のいた。さらに、金物の

BXカネシン（東京都、二村一久社長）が販売する「MPシアプレート」の採用が広がっている。同商品は昨年9月に発売したが、今年に入ってから既に、柔道場やワイナリー、倉庫、学校施設など10件余りで用いられた。使用数が多い物件では、500個以上が使われたという。



接合部のせん断耐力や剛性を向上させる（「MPシアプレート」）



MPシアプレートの発売前からMP木造を推進し実績も増えてきた（「睦モクコンビル」）

また、鋼材が不足している戦前・戦中の日本国内では、「新興木構造」として、木材のいた。さらに、金物の

MPシアプレートは、ジベル接合に用いることができる金物。ジベル接合は、「木質構造設計基準・同解説」（日本建築学会）に掲載され、同接合を認知している設計者がいる一方、日本国内では流通が少なく、汎用的な部材ではなかったという。

また、鋼材が不足している戦前・戦中の日本国内では、「新興木構造」として、木材のいた。さらに、金物の

現場では、ドリフトピンの打ち込み手間がないボルト接合で、施工が容易。木材側に埋め込み穴を加工する必要があるが、同社は加工専用のキリの販売や貸し出しに対応している。

同社は、社内試験と計算で耐力検討を行っており、樹種に応じた性能値を公開している。

現場では、ドリフトピンの打ち込み手間がないボルト接合で、施工が容易。木材側に埋め込み穴を加工する必要があるが、同社は加工専用のキリの販売や貸し出しに対応している。

同社は、社内試験と計算で耐力検討を行っており、樹種に応じた性能値を公開している。

現場では、ドリフトピンの打ち込み手間がないボルト接合で、施工が容易。木材側に埋め込み穴を加工する必要があるが、同社は加工専用のキリの販売や貸し出しに対応している。